

1. 歴史文化に関する基礎調査

件名	目的	内容
琉球王国時代の文物収集・解説	東アジア海域圏における琉球関係文献を収集し、調査・解説を行うことで、首里城や琉球王国の歴史や文化、行儀事について再現・復元の根拠となる基礎的資料を蓄積する。	・琉球王国時代の古文書の収集・調査を行い、首里城関連の情報を抽出し分析する。 新規に収集した尚家資料の「琉球国之図」「金時計・金鎖」等についての調査研究を行い、琉球王国の歴史文化の基礎的資料を蓄積するほか、定期的な資料の収集を実施する。 台湾故宮博物院で所蔵している琉球関係資料を収集し、基礎的資料を蓄積する。
在外首里城関連文化財調査・修復	国内・海外に所蔵される琉球王国時代の美術工芸品(漆器・染織品・絵画・書跡等)を調査し、素材や技術についての調査研究を行うことで、美術工芸品の複製品作成技術や外壁塗装技術の向上を目指す。	国内外に所蔵されている琉球関連文化財の調査を実施し、報告書等を刊行・配付し普及啓発を図る。 ドイツのベルリン博物館が所有する琉球王国の染織資料をはじめとする国外に収集されている美術工芸品についての調査研究の成果を広く普及するためのシンポジウム実施に向けて情報収集を行う。

2. 儀式・催事研究

件名	目的	内容
祭祀儀礼の復元調査	首里王府によって編纂された『琉球国由来記』『球陽』『琉球国旧記』『女官御双紙』等の文献資料調査、王家関連の資料である『尚家文書』や絵画資料等の収集・分析を行い、首里城内で行われていた儀式・祭礼(祭祀)・行事などに関する基礎的調査を実施し、首里城内での催事化を目指す。	琉球王国時代の文献資料から首里城に関する祭祀儀礼復元の基礎資料を抽出・分析する。 これまでに再現された朝拝御規式など歴史イベントへの新たな知見を加えた儀式再現内容や、道具類の再現などを実施する。 また首里城内で行われた儀式の類似例として玉陵で行われた金武御殿の清明祭や伊是名玉陵との行事の供物や捧げ方について、調査を行い祭祀儀礼の復元にむけての基礎資料とする。
琉球楽器催事検討業務	首里城公園内で御座楽等の琉球音楽に関する催事を定期的に開催するため、楽器の再現・メンテナンスや人材育成にむけた調査を行う。	尾張徳川家に伝わる琉球楽器を基に復元された琉球楽器(練習用楽器)を実際に演奏するため、メンテナンスを行い、演奏を行う人材育成に向けての調査を行う。

3. 美術工芸品の保存・修復・復元に関する研究

件名	目的	内容
美術工芸品等の保存修復技術に関する調査・研究	・琉球王国時代の美術工芸品資料について、修理時にしか実施できない科学分析により素材や色材技術を調査し、保存修繕技術を習得するとともに、今後の復元に活用する。	・透過X線、蛍光X線等の最新技術を用いた非破壊の科学調査と分析を行う。これにより、色材や材質等、新たな知見を得ることができる。調査の成果は保存修繕技術の普及啓発や展示会の解説および案内解説原稿に活用する。 ・火災によって被災した漆器類をはじめとする美術工芸品の修理方法の調査研究を実施し、公園内での展示解説へ活用する。 ・染織品の透過X線、蛍光X線等の色材調査の成果を踏まえたパネル展示を首里城公園内で行う。
復元・複製品等の作成に関する調査・研究	琉球王国時代に製作された美術工芸品の模造復元・複製品製作を実施することで、製作方法の復元及び技術の継承、公園内で展示する事により公園の魅力向上を図る	(首里城正殿三御飾道具製作業務) 首里城正殿において、正月の儀式の際に飾られた飾道具一式の復元製作に向けた調査研究により、金杯銀杯をはじめとする金工品、食籠などの漆芸品、吉書(めでたい文章が書かれている)等の和紙等の計40点余りを製作する。儀式で使われた御玉垂の模造復元に向けての調査研究を行う。 (御後絵彩色模写製作業務) 国王の肖像画であるが御後絵について、戦前に撮影されたモノクロ写真を基に調査研究を重ね彩色を施した模写製作を実施している。これまでに尚育王、尚瀬王、尚穆王の御後絵彩色模写が完成している。令和6年に御後絵の原資料が見つかったことで更なる調査研究を要する。 (室内装飾に関する研究) 琉球王国時代、正殿内や南殿、書院・鎖之間等の床之間を飾っていた飾道具の複製製作を行うための基本方針を策定する。基本方針の策定にあたっては、当財団内の琉球文化財研究室にて検討し、検討内容を有識者に確認してもらう。 令和8年に復元される首里城正殿内に配置された道具類の復元に向けての調査研究を行う。 (複製品の製作業務) 沖縄県外に所蔵されている資料や頻りに展示する事が出来ない資料等の複製を行い、沖縄県内で見える事の出来ない貴重な琉球王国関連の美術工芸品を首里城公園で展示する。 具体的には火災での損傷で展示が難しい染織資料「絹黄色地梅」楓桜雪輪手鞠文様紅型袷衣裳等の製作を行うことで、琉球王国関連の美術工芸資料の首里城での展示に寄与する。

4. 復元建物維持管理技術

件名	目的	内容
漆等塗装技術に関する調査	首里城の外壁塗装に関連して、材料や施工方法、長寿命化等の建物維持管理技術について、調査研究し公園管理技術の向上に寄与する。	<p>(琉球産弁柄調査) 古文書によると首里城の塗直しに際し、琉球産弁柄の調達を指示しているが、現在ではよくわかっていない。往時、琉球王国で生産された弁柄について調査を実施する。(久志間切弁柄、久米赤土) 調査の成果を受け、久志間切弁柄の生産を開始し、久米赤土とともに復元工事を行っている正殿の塗装に採用され、公園復元整備事業に寄与する。また、今後行われる北殿の塗装等への久志間切弁柄の安定供給のための調査研究を継続。</p> <p>(耐候性試験) 現在の伝統的な塗装に加え、長寿命化の観点から塗装方法や材料、クリア材などについて、耐候性試験を実施する。 塗料の劣化を防ぐためのコーティング剤の調査研究を実施し正殿等の建造物塗装の長寿命化へ寄与する。</p> <p>(桐油彩色調査業務) 正殿唐破風部分には、古文書にも記されている桐油彩色が施されている。日光東照宮をはじめとする一部には、桐油彩色が残されているが、琉球のものとなっており、中国・台湾なども含め、それらの技法について調査を行う。</p>
首里城関連古写真等資料調査業務	首里城関連の古写真や絵画等の資料を収集・調査し公園復元整備等の事業に協力する事を目的とする。	首里城関連の古写真・図書類の比較研究を行った。特に元文部省技官であった森政三コレクションの古写真・図面と県立図書館所蔵の首里古地図の比較研究を行った。 普及啓発事業としては「首里城古写真 森政三コレクション」展を8月に実施。

5. 入場促進や満足度向上に繋げる調査

件名	目的・内容
利用促進のための動向調査・分析	県・国が実施する各種調査に協力しその結果を分析することでお客様の動向を把握する。また必要に応じて独自にインターネット調査等を活用し情報収集を行う。
普及啓発事業に関する調査	普及啓発事業については、郷土歴史学習や首里城講座等実施後のアンケート調査により学習効果を検証し、事業内容の改善を図る。また、学習手法や教材等の開発に取り組み、分かり易い解説により満足度向上を図る。

6. 得られた成果公表及び社会貢献

件名	目的・内容
学術成果の公表	調査研究活動で得られた成果は、学会や学術論文等にて発表する他、首里城の展示や解説に反映させるとともに、大学等の機関での講座や、一般市民を対象とした講演会等を通して積極的に普及啓発を行う。特に首里城や琉球王国の歴史・文化、美術工芸品等の文化財に資する研究成果については、報道機関等へ向けたプレス発表を行い、広く成果を公表し保全への関心を高めるよう努める。また、首里城公園HPの調査研究年報や総合研究所のHPにて各活動の最新情報を発信する。 具体的には、研究成果の名城大学・各種団体への一般市民向けの講座・講演会の実施、染織の展示会の実施、国内・国外(韓国・中国・台湾)での研究発表の実施。また、研究成果が首里城正殿の塗装に採用されたことに対する報道機関からの取材を通して、首里城の歴史文化の全国規模での関心を高めることに寄与する。
維持管理業務への反映と次世代の人材育成への貢献	復元整備された首里城は琉球王国の歴史・文化を普及啓発する重要な役割を持つ。沖縄独特の「歴史・伝統・文化の継承」に貢献するためには、継続的な調査研究を行い、本施設において効果的で持続的な展示や行催事を実施し情報発信していくことが重要である。調査研究の成果を往時の琉球王国の姿を伝える維持管理、展示・行催事・普及啓発等に反映することで施設の魅力と満足度を高め利用促進効果を得るとともに、県の伝統工芸や首里城にかかる技術者育成にも貢献する。調査研究に関しては、大学や各機関等の専門家および有識者からの意見徴収聴取や当財団の外部評価委員による学術的評価を受けることで質を確保している。 具体的には、首里城公園内で美術工芸資料や首里城等の古写真のパネル展示会等の琉球王国の歴史文化の普及啓発事業を行うことで、首里城の魅力向上に寄与する。また、琉球大学での講座の実施、美術工芸資料の復元制作、及び東京芸術大学講師・人間国宝を招聘し、沖縄県立芸術大学学生への漆芸講義の実施、漆芸資料の修繕に県内の若手技術者が従事することで、次世代の人材育成への貢献をする。

地域還元事業(首里城)(令和6年度)

別添10

No.	行催事・事業名等	概要	実施における留意点等
1	首里城フラワーロード事業	首里城周辺の自治会等と協働で龍潭通り(県道)をフラワーロードとして草花で装飾し、首里城周辺の沿道の景観向上、および地域の活性化、首里城公園の魅力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・龍潭通り会及び周辺自治体との調整が必要。 ・指定管理者が道路占用許可を取り、苗及びプランターを用意し、龍潭通り会及び周辺自治体と協働で設置している。 ・日常の灌水は通り会の店舗が実施している。
2	首里城下にチョウを飛ばそう会との連携	地域団体(「首里城下にチョウを飛ばそう会」)と連携して、食草植栽・苗木配布・野外観察会等の実施で自然と触れ合う公園環境を提供し、公園の魅力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・会の役員として、地域連携の一環として活動に携わっている。 ・総会や役員会の調整、講演会や野外観察会、植栽活動等の対応、4回/年の会報発送準備等を行っている。
3	美御水の奉納祭	首里観光案内所と連携し、首里王府の伝統行事として行われていた首里城への美御水の奉納祭を正殿等で実施する。琉球王国時代祭祀等の「無形の展示」で首里城や琉球文化への理解促進、公園の魅力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者と実施内容及び当日の安全管理などの調整が必要 ・NRなどメディアへの告知は沖縄美ら島財団が協力している。
4	首里城復興祭	毎年11月に公園内外において、地元自治体(沖縄県、那覇市)、地域団体(首里振興会)と連携し、イベントを実施する。園内外での琉球王国文化のPRにより観光振興に寄与するとともに、利用促進に貢献する。 実行委員会形式で実施しており、実行委員会の事務局として取り組んでいる。国や沖縄県・那覇市、地域団体、観光関連事業者など多くの団体が構成員となっており、観光振興や行政連携、地域連携の観点がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会事務局として、運営、人員派遣、運営資金調達を行う。 ・実行委員会に加入し、会員団体との調整が必要である。 ・沖縄美ら島財団の資産である衣裳・備品を使用しており、継続には同財団との調整が必要である。

公園関連事業(首里城)(令和6年度)

別添10

No.	件名	実施目標・概要
1	「首里城公園友の会」の活用	首里城公園友の会が企画し、首里城や琉球王朝の専門家による解説会や講演会を実施する。また、夏季と冬季にイヌマキ育樹祭を開催し、首里城正殿の修繕に備えて育樹を行う。
2	泡盛に関する普及啓発	関係機関と連携し、国営公園の銭蔵等を活用して、泡盛の製造工程紹介パネルや酒器の展示、解説、泡盛の試飲を実施し、琉球泡盛文化に関する普及啓発と国営公園の利用促進を行う。
3	琉球漆芸研究及び琉球染織研究	琉球王国時代の漆工品の事例調査を行い、収集の可能性や製作技術について調査を行う。また、琉球王国時代の染織品について、専門的技法を解明し染織技術の再現に取り組む。調査研究事業の成果や復元資料等は本施設や県営公園他での展示・体験プログラムの実施、PRを通じて国営公園の魅力向上と利用促進を図る。
4	琉球食文化調査業務	王国時代の食文化にまつわる事項の解明による魅力向上を図るため、身近な“食”という視点から、王家に伝わる古文書「尚家文書」等に記載されたお菓子づくり体験・解説プログラム等を行い、来園者へ首里城や琉球王国の歴史・文化についてより理解を深める機会を提供する。